

阿久根市水道事業経営戦略

令和 8 年 3 月
阿久根市水道課

目 次

1	事業概要	
(1)	事業の現況	1
(2)	これまでの主な経営健全化の取組	2
(3)	経営比較分析表等を活用した現状分析	4
2	将来の事業環境	
(1)	給水人口の予測.....	7
(2)	水需要の予測	8
(3)	料金収入の見通し.....	9
(4)	組織の見通し	10
3	経営の基本方針	11
4	投資・財政計画	12
5	経営戦略の事後検証・改定等に関する事項.....	15
別紙	財政収支計画	16

阿久根市水道事業経営戦略

団体名：鹿児島県阿久根市

事業名：阿久根市水道事業

策定日：令和8年3月

計画期間：令和8年度～令和17年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

給水

供用開始年月日	昭和27年7月	計画給水人口	19,900人
法適(全部・財務) ・非適の区分	全部適用	現在給水人口	17,786人
		有収水量密度	0.71 千m ³ /ha

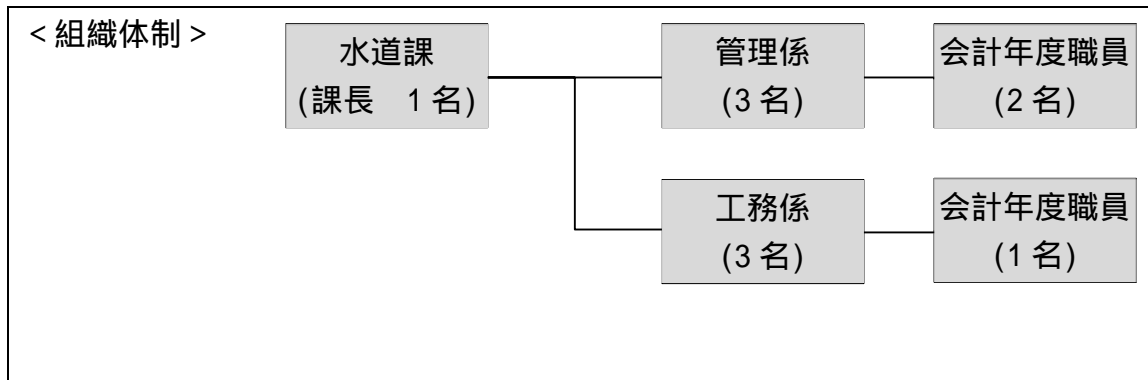
施設

水源	表流水, ダム, 伏流水, 地下水, 受水, その他		
施設数	浄水場設置数	19	管路延長 351 千m
	配水池設置数	32	
施設能力	13,731m ³ /日		施設利用率 70%

料金

料金体系の 概要・考え方	地方公営企業法第21条に基づく総括原価方式			
	基本料金		従量料金	
	口径	1か月につき	使用水量	1m ³ につき
	13mm	700円	1~10m ³	70円
	20mm	1,100円	11~20m ³	100円
	25mm	1,400円	21m ³ ~	140円
	40mm	3,500円		
	50mm	7,000円		
	75mm	11,200円		
	100mm	15,000円		
	資産維持費は加味していない。			
料金改定年月日	平成10年4月1日(現行料金体系) (旧簡易水道料金水準統一 平成30年7月)			

組織



(2) これまでの主な経営健全化の取組

1) 適切な施設更新の実施と経営負担低減

●長寿命化対策の実施について ...実行中

水道施設の更新時期が迫るなか、アセットマネジメントにおいて、耐震化・長寿命化を含めた検討を行い、水道施設の統廃合により、トータルコストでの経費削減に取り組んでいる。

現在、第10配水池(桜ヶ丘)の整備が完了し、宮之前水源系の整備に併せてより効率的な施設運営に努める。



更新需要の低減について ...実行中

蓄積する更新需要の低減のため、適正な更新投資を図ることを目標としてきた。

阿久根市水道事業における、最重要の基幹施設である宮之前水源地系統の施設について、規模の適正化を図りつつ、更新整備を計画(宮之前水源地系統強化・再編整備事業)しているところであり、令和12年度の完成を目標に整備する計画である。

2) 経常収支の安定

積極的な国庫補助金・交付金の活用による財源確保 ... 推進中

課題解消のため、積極的に国庫補助金・交付金の活用を推進しているところであるものの、補助金などの交付要件が厳格であり、必要な整備内容に対して、要件に合致しない内容が大半を占めている。

しかしながら、水道事業管轄省が、厚生労働省から国土交通省及び環境省に移管し、補助要件に対する大幅な改変がなされているところである。

このため、適用の可能性を有するこれらの現状を踏まえ、補助金・交付金の活用が期待されているところであり、宮之前水源系強靱化・再編整備事業については、国土交通省や環境省の交付金等が期待される。

水道料金の適正化について定期的な検討の継続 ... 予定あり

近年の水道事業経営においては、更新投資を抑制することで水道料金への影響を抑制してきた。しかしながら、旧簡易水道の統合や上水道施設の老朽化に伴い、解消すべき課題が多くあり、水道料金の適正化を早期に実行することが必須となっているため、近年中に適正料金の検討に着手する。

3) その他計画

省エネルギー機器の導入 ... 実行中

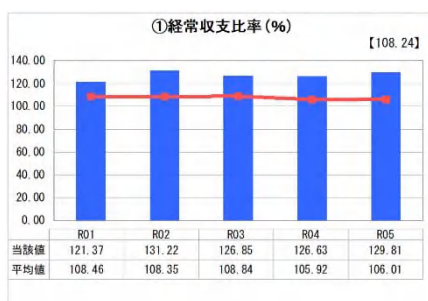
現在、動力費の低減に加え、カーボンニュートラルの観点からも、省エネ機器について積極的な導入を図っている。

特にポンプ設備については、動力費削減に取り組んでいる。阿久根市上水道事業宮之前水源地については運用システム全体を通じて実行中となっており、令和12年度を目標に整備しているところである。

(3)経営比較分析表等を活用した現状分析

1) 収支の状況

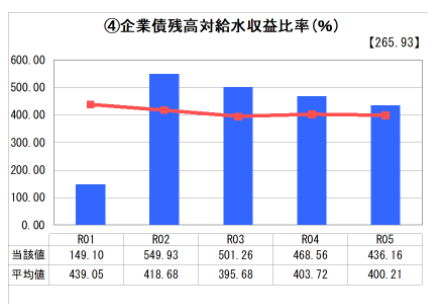
経常収支比率は、常に100%以上を維持しており、経常的収支は黒字を維持している。類似事業体の平均値と比較しても良好な状況となっており、健全な経営が図られていることを証明するものとなる。



2) 企業債残高対給水収益比率

旧簡易水道事業が統合されたことで、令和2年度には企業債残高が大幅に上昇している。しかしながら、現時点においては類似事業体の平均値と同程度に減少しており、健全経営による企業債の縮小が図られていると考える。

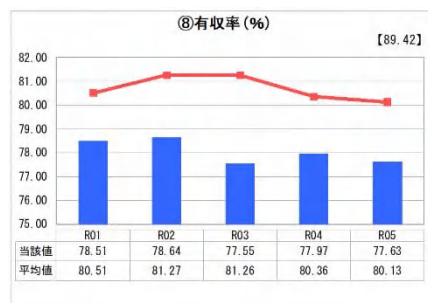
これらの値は簡易水道事業を重点的に整備してきた結果であり、上水道事業においては更新投資を抑制してきたことから、今後は、旧上水道事業に対する更新を重点的に実施する必要がある。



3) 有収率

管路の経年劣化と共に、有収率は減少傾向にある。また、類似事業体と比較しても3ポイントほど低く、全国平均に対して10ポイントを超える差が生じている。

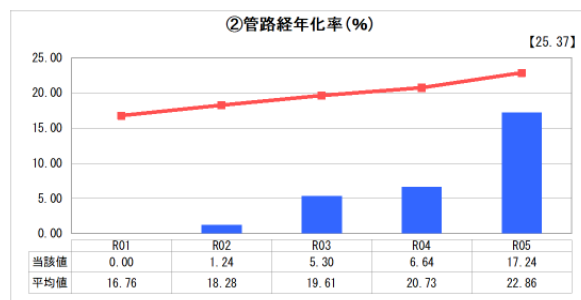
主として旧上水道事業の有収率低下が顕著であると想定され、市街地などの布設環境から管路更新の難易度が高いうえ、大口径や布設延長が多いことなどを背景に、適切な更新が満足にできていないのが現状である。このため、旧上水道事業についてより重点的な管路更新を実施し、有収率を改善する必要がある。



4) 管路経年化率

健全経営の反面、有収率の低下の要因として、管路の老朽化を挙げた。管路の経年化率にて定量的に評価しているとおり、類似事業体の平均値よりは良好な値となっているものの、大幅な上昇傾向にあることが大きな懸念点である。

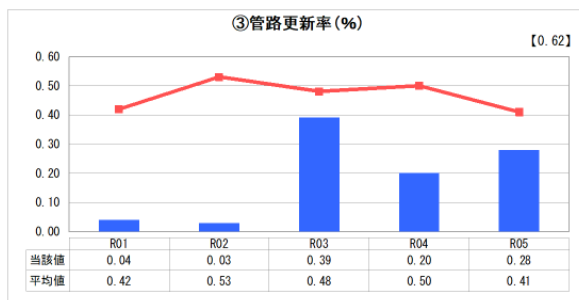
このため、管路に対する更新投資が必要であることの定量的な評価となる。



5) 管路更新率

管路経年化や有収水量の低下の要因として、管路更新率の伸び悩みがある。これらは財源不足や技術者不足に起因するものであると想定され、R05年度の更新率を適用した場合においては、350年の期間を要することとなる。

このような結果は、いずれ解消する必要があるため、少なくとも類似事業体、可能であれば全国平均程度(0.5%)の管路更新率を目指すことが好ましいと考えられる。



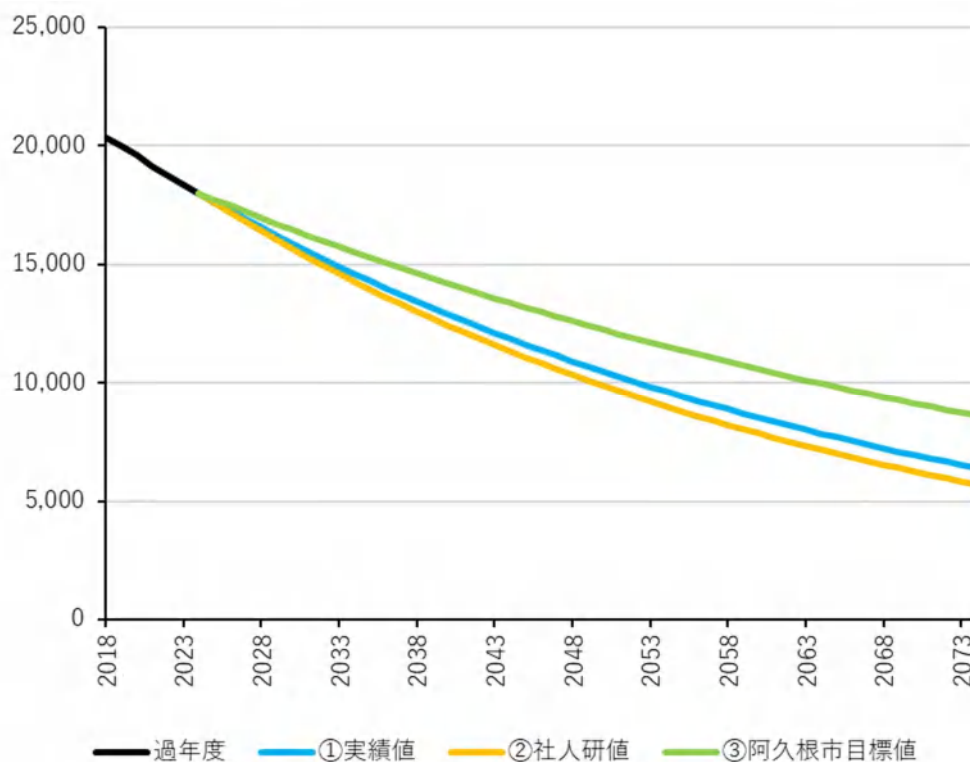
2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

過去の実績を基にした予測値、社会保障人口問題研究所にて予想された値を参考に補正した予測値、本市人口ビジョンにより目標としている予測値の3ケースにて行政区域内人口を予測する。

給水人口については、採用した行政区域内人口と普及率により算定した。

いずれの値も減少傾向にあるものの、より現実的な値となるよう予測値の中間にあたる「実績値」の行政区域内人口予測値にて収支予測を行う。



将来的にも人口減少は避けられないと見込まれるものの、阿久根市の総合的な取組みとして、人口減少が抑制されるよう、市としての方策も併せて取組む。

(2)水需要の予測

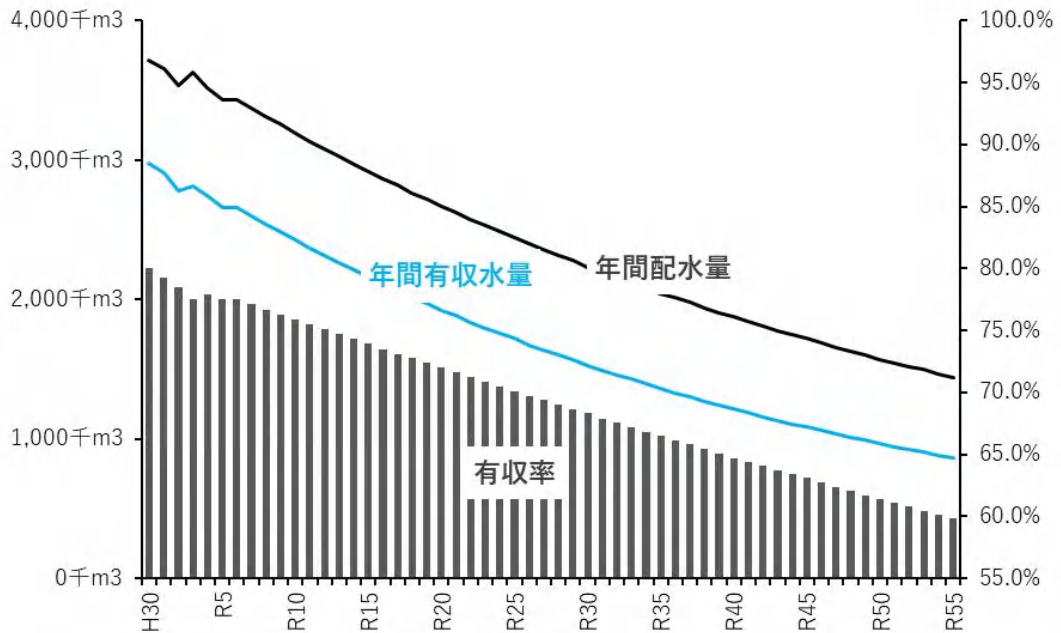
給水人口の減少に対して、有収水量も同様に減少傾向にある。しかしながら、給水人口1人当りの使用水量は増加しており、一般家庭の使用水量の減少に対して、地元企業の使用水量がほぼ一定に保たれているためと想定される。

また、ペットボトルによる飲用水の確保や、節水意識の高まりに伴う家庭における使用水量の減少についての影響は、ほぼ終息していると想定する。

一方、有収率については、限られた財源による運用となるため、十分な更新投資の確保が期待できない中で、今後段階的な投資額を増加させることを念頭に置いて、現時点では一定程度減少傾向となることが予測される。

このため、給水人口一人当たりの使用水量は今後一定の水準にて推移し、給水人口の減少に併せて、水需要(有収水量)も減少することが想定される。

このような状況を改善するため、適正な財源確保及び施設更新の実施を徹底する必要がある。



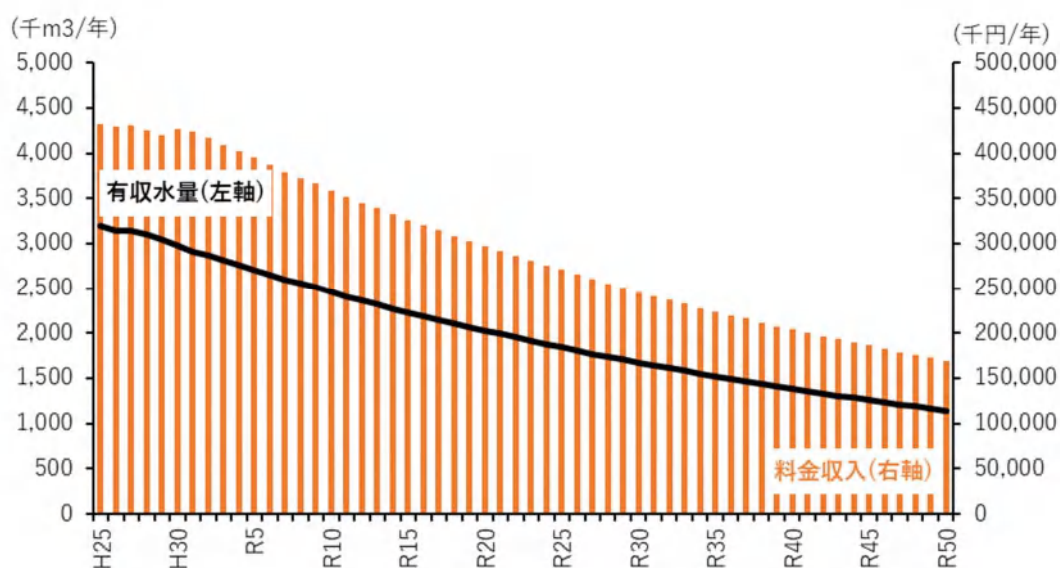
(3)料金収入の見通し

人口減少に伴い料金収入も減少することが想定される。

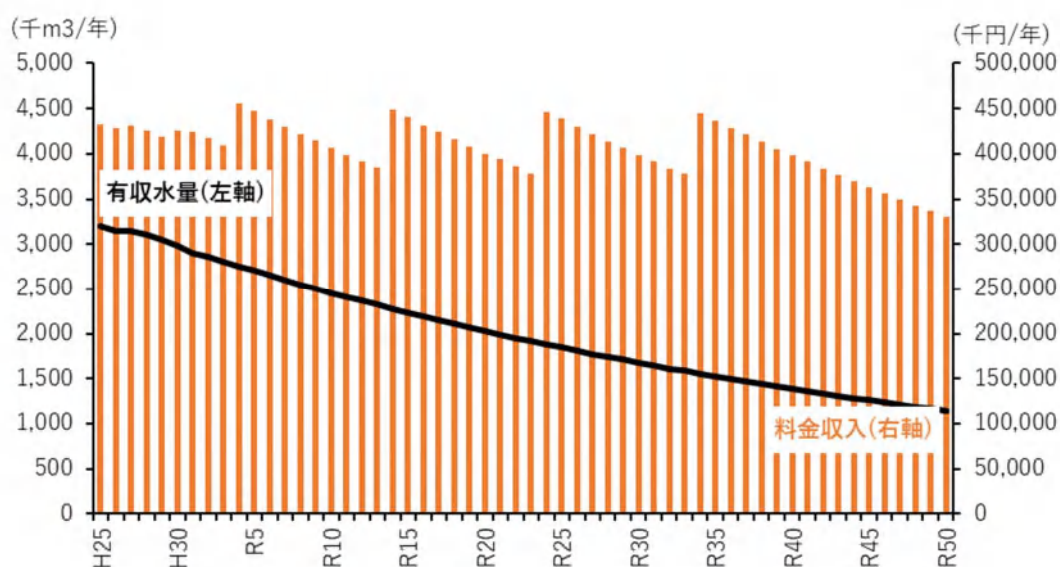
令和元年度においては4.2億円程度の料金収入であったが、令和6年度では3.8億円(-0.4億円)に減少している。この場合、5年間で15%の収入減となっており、将来の加速度的な有収水量の減少を想定すると、15年で半減することが想定される。

このため、料金水準の見直しや料金以外の収入の確保について早急に検討する必要がある。

【料金水準を維持した場合】



【定期的な料金水準の見直しを行った場合】



(4)組織の見通し

自治体における人事規定に基づくため、水道事業職員のみ的人员確保等は見込めないものの、災害などに対する人員確保も含め、現在の組織体制を維持する。

ただし、増加する更新需要や老朽化に対応するため、技術力の低下防止の観点から、水道職員の退職時には、職員教育も含めた技術力向上を視野に、広域連携を主体とした職員間の技術交流や再雇用など、ソフト面での対策を検討することで、技術力の低下を抑制する。

また、人員不足に起因する水道サービスの低下が生じることの無いよう、水道業務の外部委託等も視野に検討を継続する。

3 . 経営の基本方針

阿久根市水道事業においては、自然も人もみな笑顔になれる水道を目指し、また、人や自然に支えられている水道を、自信を持って未来へ引き継ぐために、「自然と人と水道と 笑顔で託そう未来の阿久根」を基本理念として掲げる。そして、安全な水道、強靱な水道、水道サービスの持続の3つの観点から、水道事業の理想像を具体的に示し、これに向けた目標達成を目指す。

【基本理念】

しぜん ひと すいどう えがお たく みらい あくね
自然と人と水道と 笑顔で託そう未来の阿久根

基本方針

安全

【安全な水道水の供給】

全ての市民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲める水道

強靱

【強靱な水道システムの構築】

自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道

持続

【戦略的な水道事業の経営】

給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

4 . 投資・財政計画

(1)投資・財政計画：別紙のとおり

(2)投資・財政計画の策定に当たっての説明

収支計画のうち投資についての説明

目標	適切な施設更新の実施と経営負担低減
<p>●長寿命化対策の実施</p> <p>老朽化施設の補修・補強及び点検調査の計画的な実施により、実用的な運用年数である実耐用年数での運用を目標とする。このために必要となる長寿命化対策を目的とした、継続的な投資を行い、長期的に見た経営負担の低減を図る。</p> <p>更新需要の低減</p> <p>上水道事業において累積した更新需要(老朽化資産)を改善するため、継続した建設投資を実施する。現時点においては財政負担の軽減も踏まえ、年間2億円程度に抑制したうえで、適正な財源確保に努め、適正な施設更新が実施できるよう経営基盤強化に努める。</p>	

目標	管路更新整備の適正化
<p>上水道事業における管路更新率を1.0%へ向上</p> <p>本市水道事業における管路更新率は、類似事業体における平均値0.41%に対して、0.28%と低い水準となっている。この場合、すべて更新するのに350年以上を要する計算となる。このため、当面の目標として全国平均程度の管路更新率0.5%を目指し、事業管理や地元企業への負担が生じないよう、管路更新投資の段階的な増加を図る。</p>	

収支計画のうち財源についての説明

目標	経常収支の安定
<p data-bbox="300 230 1038 264">積極的な国庫補助金・交付金の活用による財源確保</p> <p data-bbox="300 286 1393 533">これまで、簡易水道事業においては積極的な国庫補助金等の導入を行うことで、財源の確保を図ってきた。しかしながら、上水道事業においては補助金等の条件が厳しく実施が困難であったものの、水道事業の管轄が厚生労働省から国土交通省に移管したことで、補助金要件に合致することも期待される。</p> <p data-bbox="300 555 1393 645">このため、可能な条件の範囲で積極的に国庫補助金・交付金を活用し、水道施設整備に関する財源確保に努める。</p> <p data-bbox="300 667 560 701">水道料金の適正化</p> <p data-bbox="300 723 1393 813">人口減少や老朽化の進行など、多くの課題を抱えつつ健全な水道施設を維持していくためには、財源の確保が困難な状況となっている。</p> <p data-bbox="300 835 1393 965">このため、アセットマネジメント手法などの取組みを継続して行いつつ、中長期的な将来を見越した上で、阿久根市民が安心して水道を利用できるような適正な料金水準・料金体系についての検討を行い、近年中に適正化する。</p>	

収支計画のうち投資以外の経費についての説明

<p data-bbox="300 1090 655 1124">省エネルギー機器の導入</p> <p data-bbox="300 1146 1393 1236">ポンプ等の動力設備における更新時には、省エネルギー機器を導入することで、動力費の削減を図る。</p> <p data-bbox="300 1258 911 1292">給水検針など外部委託費用の低減策の検討</p> <p data-bbox="300 1314 1393 1489">現在、給水検針や施設管理など、人件費抑制を目的として外部委託を行っている。これらの委託費用は、毎年度費用が発生するため、より効率的かつ低コストな外部委託の実施が可能となるよう、委託内容及び手法を再検討し、コスト縮減に努める。</p>	
---	--

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

投資の合理化、費用の見直しについての検討状況等

<p>広域化</p>	<p>積極的な広域化について、全国で推進されているところである。本市においても、鹿児島県主導で、広域連携に関する協議会に参加し、広域化を含めた協力体制について検討を継続しているところである。</p>
<p>民間の資金 ・ノウハウ等の活用</p>	<p>施設の維持管理や修繕等において、地元企業の協力もあって適正に対応しているところである。</p> <p>しかしながら、今後増加するであろう更新事業に対応するため、現在の職員数での対応は困難となることが想定される。職員数の増加を抑制しつつ、適正な更新事業を実施するための手法として、管理の第三者委託や施工監理委託なども含め検討を継続する。</p>
<p>アセットマネジメント の充実</p>	<p>本市においては、平成 30 年度にアセットマネジメントによる試算を行っている。今後、試算結果をより充実させ、アセットマネジメント手法としての一連の流れを取り入れるため、継続した学習やシステム導入に努め、アセットマネジメントの見直しを検討する。</p>
<p>施設・設備の 廃止・統合</p>	<p>施設の統廃合における主な事業としては、第 10 配水池(桜ヶ丘)の整備が完了している。次段階としては宮之前水源地の整備や、大曲配水池の廃止等も想定しているため、計画に準じた事業の早期完成に努める。</p>
<p>施設・設備の合理化</p>	<p>管路を含めた水道施設の更新時には、適正な規模・口径及び仕様となるよう、更新内容を再度検討しつつ、適正な時期に更新を行う。</p>

財源についての検討状況等

<p>料金</p>	<p>投資の効率化及び費用の縮減を推進した上で、適正な料金水準について定期的に検討を行い、適正な料金水準について水道事業運営委員会において議論できるよう検討を継続している。</p>
<p>企業債</p>	<p>企業債は、投資負担における世代間の公平性を確保する目的もあるため、今後の人口減少に伴う財源不足も踏まえ、適正な水準となるよう管理していく。</p>

<p>繰入金</p>	<p>定められた方式により水道料金を算定した場合には、阿久根市民への負担が多くなることが想定される。このため、一般会計からの支援により市民への負担の低減も視野に、繰出し基準に基づく適正な繰入金の水準について関係各課と協議を継続する。</p>
<p>資産の有効活用等による収入増加の取組み</p>	<p>本市は、山地が多く起伏に富んだ地形における水道事業であるため、小水力発電や太陽光発電等の再生可能エネルギーにより、水道事業のもつ特性を活用した収入増加の取組みについて検討を行う。</p>

5 . 経営戦略の事後検証・改定等に関する事項

<p>経営戦略の事後検証、改定等に関する事項</p>	<p>常に変化する社会環境に対応するため、経営戦略の成果の検証及び評価、見直しを定期的に行う必要がある。今回経営戦略は第1回の改定となるが、水道事業の基本方針として、「阿久根市新水道ビジョン」についても同様に策定している。より明確な水道事業の方向性を示せるよう、経営戦略の次期改定時には、水道ビジョンの内容の見直しを検討し、より効果的な目標達成を目指す。</p>
----------------------------	---

財政収支計画

		実績値						予測値														
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	
有収水量(m3/年)		2,977,589	2,905,682	2,781,304	2,816,497	2,741,671	2,661,902	2,661,902	2,600,468	2,540,758	2,489,195	2,425,378	2,369,708	2,315,385	2,268,457	2,210,480	2,159,898	2,110,364	2,067,827	2,014,888	1,968,945	
収益的収入	水道料金	426,332	424,445	401,271	405,766	395,494	385,719	381,905	378,220	370,977	364,590	449,141	440,576	432,228	424,876	416,047	468,953	460,130	452,406	443,086	434,867	
	給水負担金	5,082	3,785	1,880	1,280	2,870	2,980	1,400	2,047	2,029	2,011	1,993	1,976	1,958	1,941	1,924	1,907	1,891	1,874	1,857	1,841	
	他会計負担	1,337	1,317	2,736	1,359	1,359	1,359	1,362	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
	その他営業収益	819	752	1,113	1,050	946	971	971	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	
	他会計補助金	0	0	122,211	75,577	73,210	72,987	64,360	66,634	51,090	42,045	41,981	41,926	41,871	41,824	41,766	38,696	36,199	36,156	35,765	34,163	
	長期前受金戻入	9,101	8,962	55,953	51,514	52,019	47,755	47,224	46,044	44,863	43,683	42,502	41,321	40,141	38,960	37,779	36,599	35,418	34,238	33,057	31,876	
	その他収益	3,443	2,775	30,459	55,024	43,593	48,191	54,231	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	34,000	
	計	446,114	442,035	615,623	591,570	569,491	559,962	551,454	529,345	505,360	488,729	572,018	562,199	552,599	544,002	533,917	582,555	570,038	561,074	550,165	539,148	
	収益的支出	人件費等	61,278	58,050	66,450	58,444	56,238	49,454	57,173	55,230	56,231	57,251	58,289	59,345	60,421	61,517	62,632	63,767	64,924	66,101	67,299	68,519
		動力費	39,047	36,976	35,367	36,912	40,307	35,772	37,438	37,098	36,753	36,513	36,077	35,745	35,418	35,191	34,778	34,465	34,153	33,942	33,500	33,204
		薬品費	1,432	1,572	2,496	2,305	2,478	2,707	2,431	2,404	2,378	2,358	2,326	2,301	2,276	2,257	2,227	2,203	2,179	2,162	2,130	2,108
		修繕費	22,446	16,995	18,582	21,503	19,155	19,029	25,864	21,324	21,699	22,073	22,447	22,821	23,195	23,569	23,943	24,317	24,691	25,066	25,346	25,720
		委託料	52,911	77,439	67,576	57,366	51,266	51,021	57,142	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200
		減価償却費	121,185	121,416	221,623	222,595	220,149	218,727	219,482	219,620	219,758	219,896	220,034	220,172	220,310	220,448	220,586	220,724	220,862	221,000	221,138	221,276
(内 上水分)		121,185	121,416	221,623	222,595	220,149	218,727	219,482	213,995	208,508	203,021	197,534	192,047	186,560	181,073	175,586	170,099	164,612	159,125	153,638	148,151	
(内 簡水分)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(内 新規分)		0	0	0	0	0	0	0	5,625	11,250	16,875	22,500	28,125	33,750	39,375	45,000	50,625	56,250	61,875	67,500	73,125	
資産減耗費		0	445	0	4,067	5,164	35	1,071	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	1,901	
支払利息		34,281	31,791	29,171	26,457	23,895	21,483	19,318	17,386	17,581	17,987	18,542	19,221	20,087	20,992	21,896	22,809	23,726	24,627	25,456	26,237	
(内 上水分)		14,001	12,351	29,171	26,457	23,895	21,483	19,318	4,101	3,269	2,529	1,910	1,427	1,142	923	772	679	584	488	389	288	
(内 簡水分)		20,280	19,440	0	0	0	0	0	13,285	12,362	11,558	10,782	9,994	9,195	8,383	7,559	6,743	5,993	5,290	4,580	3,888	
(内 新規分)		0	0	0	0	0	0	0	0	1,950	3,900	5,850	7,800	9,750	11,686	13,565	15,387	17,149	18,849	20,487	22,061	
その他費用	29,174	38,559	27,873	29,857	31,083	33,148	29,494	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000	31,000		
計	361,755	383,244	469,138	459,506	449,735	431,375	449,412	445,164	446,502	448,179	449,815	451,706	453,809	456,076	458,163	460,386	462,637	464,998	466,970	469,165		
経常損益	+84,360	+58,791	+146,485	+132,064	+119,757	+128,587	+102,042	+84,181	+58,858	+40,550	+122,202	+110,493	+98,790	+87,926	+75,754	+122,169	+107,401	+96,076	+83,195	+69,982		
資本的収入	企業債	63,900	70,900	0	0	0	0	0	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	
	補助金・交付金	33,009	32,470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	他会計補助等	126,899	140,679	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他資本的収入	61	25	0	0	0	1,171	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	223,869	244,074	0	0	0	1,171	0	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	
	資本的支出	建設改良費	162,530	284,530	82,726	133,966	73,518	67,588	70,916	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
		(内 更新分)								200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
		(内 強靱化分)								50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
		元金償還	174,667	182,316	179,002	176,717	173,765	171,237	154,868	154,987	122,346	99,391	95,185	83,764	81,510	79,641	78,525	75,671	73,958	77,155	79,748	79,954
		(内 上水分)	56,480	56,741	179,002	176,717	173,765	171,237	154,868	42,005	39,409	33,637	28,655	16,446	13,393	8,549	4,390	4,483	4,578	4,674	4,773	4,874
(内 簡水分)		118,187	125,575	0	0	0	0	0	112,982	82,937	65,754	66,530	67,318	68,117	68,929	69,753	64,529	60,384	61,087	61,120	58,700	
(内 新規分)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,163	4,382	6,659	8,996	11,394	13,855	16,380	
その他支出	5,233	105	1,275	56	106	6,758	50	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
計	342,430	466,951	263,003	310,740	247,390	245,583	225,834	406,487	373,846	350,891	346,685	335,264	333,010	331,141	330,025	327,171	325,458	328,655	331,248	331,454		
収入が支出に不足する額	118,561	222,877	263,003	310,740	247,390	244,412	225,834	331,487	298,846	275,891	271,685	260,264	258,010	256,141	255,025	252,171	250,458	253,655	256,248	256,454		
補填財源	減債積立金	59,342	59,342	59,342	59,342	0	0	0														
	建設改良積立金	648,136	718,136	768,136	705,029	790,275	890,080	990,080														
	未処分利益剰余金		167,138	263,623	458,795	439,539	394,226	322,863														
	その他								1,241,115	1,177,923	1,120,697	1,150,648	1,181,629	1,204,479	1,219,653	1,225,090	1,281,114	1,325,401	1,356,485	1,373,415	1,378,244	
計	707,478	944,616	1,091,101	1,223,166	1,229,814	1,284,306	1,312,943	1,241,115	1,177,923	1,120,697	1,150,648	1,181,629	1,204,479	1,219,653	1,225,090	1,281,114	1,325,401	1,356,485	1,373,415	1,378,244		
債務残高	上水分	540,197	483,456	426,666	370,356	315,984	265,487	219,924	177,919	138,511	104,874	76,218	59,773	46,380	37,831	33,441	28,957	24,380	19,705	14,932	10,058	
	簡水分	1,906,902	1,841,712	1,790,401	1,669,993	1,550,600	1,429,860	1,320,555	1,207,573	1,124,637	1,058,882	992,352	925,034	856,916	787,987	718,235	653,706	593,322	532,235	471,115	412,415	
	新規分								0	75,000	150,000	225,000	300,000	375,000	447,837	518,455	586,796	652,800	716,406	777,551	836,171	
計	2,447,099	2,325,168	2,217,067	2,040,349	1,866,584	1,695,347	1,540,479	1,385,492	1,338,148	1,313,756	1,293,570	1,284,807	1,278,296	1,273,655	1,270,131	1,269,459	1,270,502	1,268,346	1,263,598	1,258,644		
供給単価	144.9	147.4	145.0	144.5	145.3	146.0	144.0	146.2	146.8	147.3	186.0	186.8	187.5	188.2	189.1	218.0	218.9	219.7	220.8	221.8		
給水原価	118.4	128.8	148.6	144.9	145.1	144.1	151.1	153.5	158.1	162.5	167.9	173.2	178.7	183.9	190.2	196.2	202.4	208.3	215.4	222.1		
料金回収率	122%	114%	98%	100%	100%	101%	95%	95%	93%	91%	111%	108%	105%	102%	99%	111%	108%	105%	103%	100%		